

# 龍高通信



☆111号☆  
 兵庫県立龍野高等学校  
 総務部  
 Tel:(0791)  
 62-0886

## 創造的課題解決力の育成

校長 北峯 照之



私は、県立龍野高等学校校長として4回目の春を迎えています。

去る4月1日、「平成」に代わる新元号となる「令和」が発表されました。出典は現存する日本最古の歌集「万葉集」で、中国の古典でなく国書から引用されたのは確認できる限り、初めてとなります。典拠は『初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす』で、安倍首相からは、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められている」と述べられました。私自身も込められた意味に相応しい時代になることを切に願っています。

さて、この3月に71回生314名が元気に巣立っていきましました。生徒達一人ひとりが「夢」の実現に向けて弛まぬ努力を続け、諦めない姿勢で頑張ってきたその足跡は、71回生の進学実績に見ることができます。主な国公立大学の合格者数では、大阪大学8名、神戸大学9名、北海道大学1名、東京工業大学1名、名古屋大学1名、九州大学1名、岡山大学35名、広島大学5名、兵庫県立大学25名など、現役総数で172名が合格を果たしています。この実績は、8クラス規模の学年において過去最高の数字になります。また、主な私立大学合格者数は、関西大学22名、関西学院大学57名、同志社大学12名、立命館大学42名となっています。このような結果となったのは、生徒達が目標に向かって自らを律して主体的に進路実現に取り組んだからこそだと考えます。実は、それを裏付ける数字があります。それは、3

年間無遅刻、無欠席、無欠課の生徒に贈られる「皆勤賞」の人数が学年全体で99名であり、これは実に生徒3人に1人が皆勤者だということになります。各人が生活リズムを崩さない日常を送ることで健康を維持していたことがこの進学実績の数字になって表れたのだと思っています。

本校は、西播磨地域で唯一、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けています。指定を受けた1期から2期の現在に至るまで通算7年目となり、昨年度から第2期指定の研究開発の取り組みを行っています。

第1期の指定を基盤として、第2期の研究開発テーマを『グローバルな視野を持ち、ローカルな視点で科学の輪を繋ぐ』探究過程の可視化により生徒一人ひとりを深い学びへ導く指導方法の開発』とし、組織的かつ継続的な評価指導体制を構築し、生徒一人ひとりの形成的な評価を研究開発テーマとして実施しています。

第2期では新たな可能性を生み出すための「4つの力」

として、科学の輪(発見力、試行錯誤力、検証力、討議力)を定義しました。

- ① 発見力とは、問題に自ら気づき仮説を立てる力
- ② 試行錯誤力は、問題解決のために意図的・持続的に考え抜く力
- ③ 検証力は、結果を論理的・専門的に分析する力
- ④ 討議力は、討議する事で新たな可能性を追求する力

この科学の輪である「4つの力」のスパイラルが連続されることで、課題・問題の解決力が育成されると仮定し、研究開発を進めています。

第2期研究指定2年目として、今年度は、重点研究開発事項を「生徒一人ひとりの探究活動の深化」とし、

- ① 探究ノートによる探究過程を可視化する評価指導方法を研究
  - ② 学びのネットワークを活用し研究調査を深化させる方法を研究
  - ③ 総合自然科学科「科学英語」における実践的英語力の評価基準を研究
  - ④ 普通科「探究Ⅱ」における教科横断型講座・テーマ別討論における指導方法を研究
- 以上の4つの取り組みを行う計画です。



## 第74回入学式

4月8日(月)午後1時より、第74回入学式を執り行いました。

新入生は一人ずつ名前を呼ばれた後、代表が元気に宣誓しました。

校長式辞に続き、来賓を代表し、たつの市長 山本実様と、育友会長 河原雄一郎様より、ご祝辞をいただきました。その後、合唱部と生徒会執行部による校歌披露を行いました。

新入生280名は式典終了後、各ホームルーム教室へと向かい、龍高生としての生活をスタートさせました。



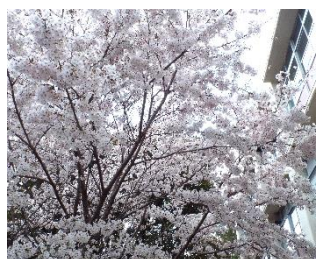
## 対面式・離任式

4月9日(火)に対面式を行いました。

生徒会長が歓迎の言葉を述べ、それに応え新入生代表が新入生代表挨拶をしました。

新学期が始まり、全学年で行う初めての行事でした。

対面式終了後には、引き続き離任式を行いました。離任された先生方から、ご挨拶をいただきました。



## 第12回ローズベルト高校訪問

3月15日(金)から25日(月)まで、2年5名、1年11名の計16名がシアトルで11日間研修を行った。初日は伊丹空港から羽田を経て成田へ、成田からタコマ空港へと長時間にわたる移動の後、歴史産業博物館(MOHAI)でシアトルの歴史や産業について学び、Bill & Melinda Gates Foundation Discovery Centerで国際的な問題について視野を広げ、夕方ローズベルト高校に到着した。ホストファミリーと対面後はそれぞれの家庭へと引き取られ、週末を家族とともに過ごした。月曜には日本語の授業に参加して、日本文化についてのプレゼンテーション



歴史産業博物館 (MOHAI)

ンを行った。週末にホストファミリーと交流できたことで、緊張の中にも自信をもって練習の成果を発揮することができた。2限終了後にはワシントン大学へ移動して施設を見学し、広い敷地に並ぶレンガ造りの建物の美しさと図書館の荘厳さに魅了された。研究室ではドローンの設計やエコーカーの研究について説明を聞き、難しい英語に苦戦しながらも研究に対する学生の熱意を感じとった。火曜にはボーイング社とマイクロソフト社を訪問して、規模の大きさや科学技術の進歩に圧倒された。

水曜から金曜までの3日間はローズベルト高校に滞在し、日本語の授業や龍野高校生のための特別授業を受け、ホストの生徒と同じ授業に参加した。アメリカの高校生が積極的な質問や発表をしている姿を目の当たりにして、日本での自分たちの姿勢を振り返る機会となった。また、2回目のプレゼンテーションは楽しみながら発表することができた。



プレゼンテーションの様子

土曜はホストファミリーと最後の時間を過ごし、翌朝の出発時には別れを惜しんで涙を流す場面もあった。最初は英語が聞き取れず、言いたいことを表現できないだったが、時間が経つにつれてコミュニケーションをとれるようになり、家族という絆が強くなったことがうかがえた。

この研修を通して日本とアメリカの違いを知り、それぞれの良さに気づけた生徒は、今後いろいろな場面で成長した姿を見せてくれることだろう。

平成31年度入試が終了した。今年度の龍野高校の主な国公立大学の合格者数は以下の通りである。大阪大学8名、神戸大学9名、北海道大学1名、東京工業大学1名、名古屋大学1名、九州大学1名、岡山大学35名、広島大学5名、兵庫県立大学25名。国立大学117名、公立大学65名、合わせて国公立大学の合格者数は182名である。

## 進路結果

71回生については国立大学172名、私立大学738名の合格者を出した。数字だけでなく内容面での躍進が目立つことに加え、志望大学にこだわり積極的にチャレンジする生徒が多く見られ、また、例年以上に中期・後期と最後まで粘り強く受験し、よく頑張ってくれた。

## 教職員異動

### 離任者(転出先)

武内 和彦(退職・播磨特支援)  
村上 雅俊(夢前)  
松原 良輔(相生産業)  
堀 史人(県立農業)  
田積 元(佐用)  
柴田 貴久(龍野北)  
西田 萌(姫路市立荒川小)  
露本 真千子(姫路しらさぎ特支援)  
橋本 恵子

### 転入者(前任校)

大前 和隆(福崎)  
三輪 昌慶(佐用)  
芦田 学(神崎)  
宮本 亜矢(相生産業)  
川上 紗誉  
小倉 智子(山崎)  
廣瀬 麻里亜

## 生徒会役員

生徒会長	高橋 亮介
副会長	山谷 香絵
書記	加藤 風乃
会計	根本 莉子
運動	大津賀 春香
体育	神吉 美由紀
学芸	瓢 和輝
H	西川 聡祐
R	岸本 麻由
図書	大矢 陽菜乃
風紀	有元 心良
保健	松本 珠希
通学	松本 碧海
	掛 彩花
	池田 雄飛
	山本 千鶴
	岡本 歩唯未
	田中 梨々香
	福井 新大
	栗田 衿唯
	菟場 楓華
	清水 瞭介